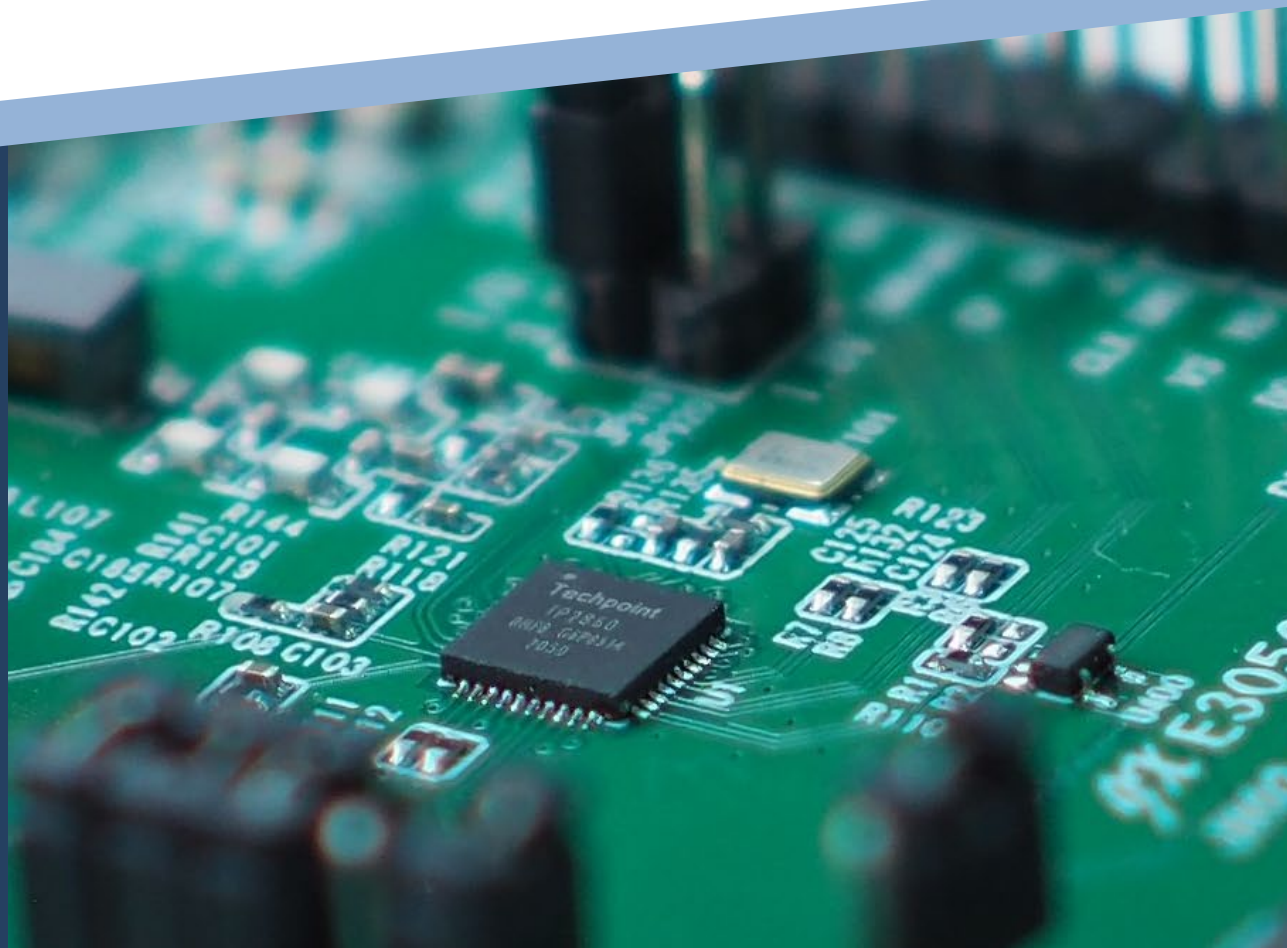


Techpoint

テックポイント・インク

2023年12月期 第2四半期 決算ハイライト

証券コード: 6697
東証外国株グロース
2023年8月



本日のアジェンダ

I 2023年12月期 中間決算の概要

II 2023年12月期 業績予想の概要

III 収益の還元について

I 2023年12月期 中間決算の概要

(注)

当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。
本資料において円で表示している業績数値は、
便宜上 1 米ドル=144.99円で換算された金額です。

半導体関連市場の在庫調整局面の中 売上高は前年同期間比11.0減 Non-GAAP当期純利益は、13.8%減で推移

1. インフレの長期化・拡大等により当期の経済は世界的に低調。
半導体を使用する完成品メーカーにおいて製品在庫・部品在庫の過剰が課題。
監視・車載両カメラ分野でメーカー過剰在庫が、半導体部品の追加調達・新機種
の開発を抑制している。
 - ・ **売上高**は、前年上期比 **11.0%減**の 29.4百万米ドル（4,269 百万円）
 - ・ **売上総利益**は15.9百万米ドル(2,301百万円)と前年上期比で**14.5%の減少**
売上総利益率は、上期中の販売製品構成比の変化により、53.9%と前年上期比で
2.2ポイントの低下
 - ・ **営業利益**は、前年上期比 **21.9減**の7.4百万米ドル(1,078百万円)
 - ・ **純利益**は、前年上期比 **12.4%減**の7.4百万米ドル（1,077百万円）
2. **Non-GAAP指標の純利益**は前年上期比**13.8%減**の 8.1百万米ドル（1,170百万円）

3. セグメント別

○車載カメラ向け半導体

前年上期比 **1.8%の減収**：18.7百万米ドル（2,715百万円）の売上

- ・新規取引先、新機種での採用の努力が奏功し、大幅な市場縮小の中で小幅減収で着地

○監視カメラ向け半導体

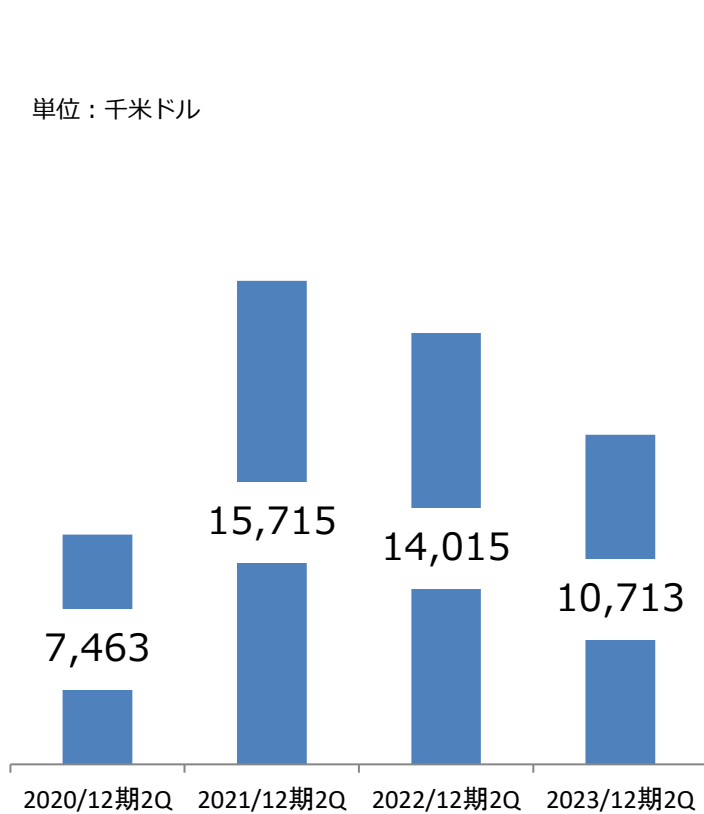
前年上期比 **23.6%の減収**：10.7百万米ドル（1,553百万円）の売上

○当社売上高に占める車載半導体比率は**63.6%**と前年上期比約6ポイントの上昇

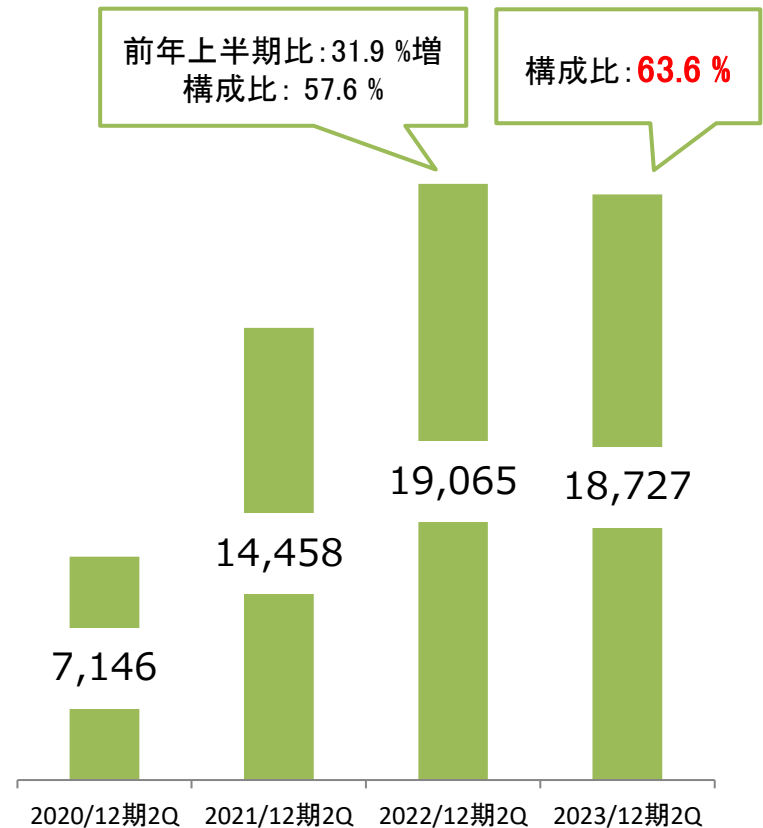
○地域別では、概ね前期と同様

■ 監視カメラ向け半導体は、販売先需要減の影響を受け減収
 車載カメラ向け半導体は、出荷数は増加も、
 プロダクトミックスによる平均销售价格低下により減収

単位：千円ドル

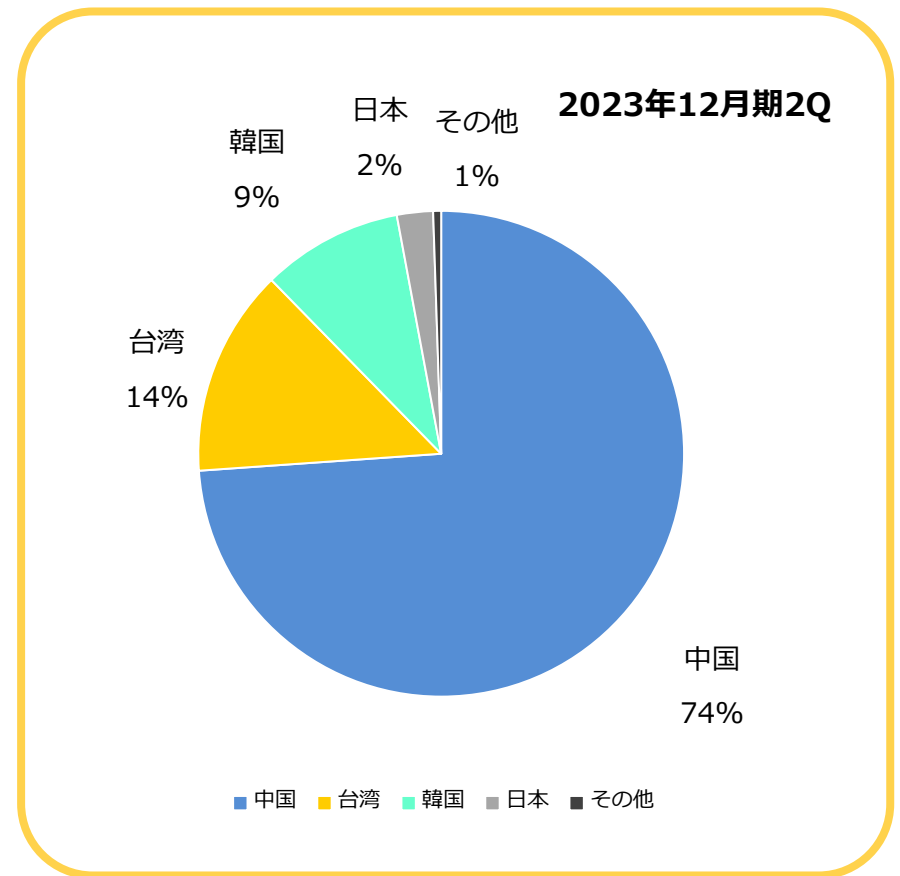
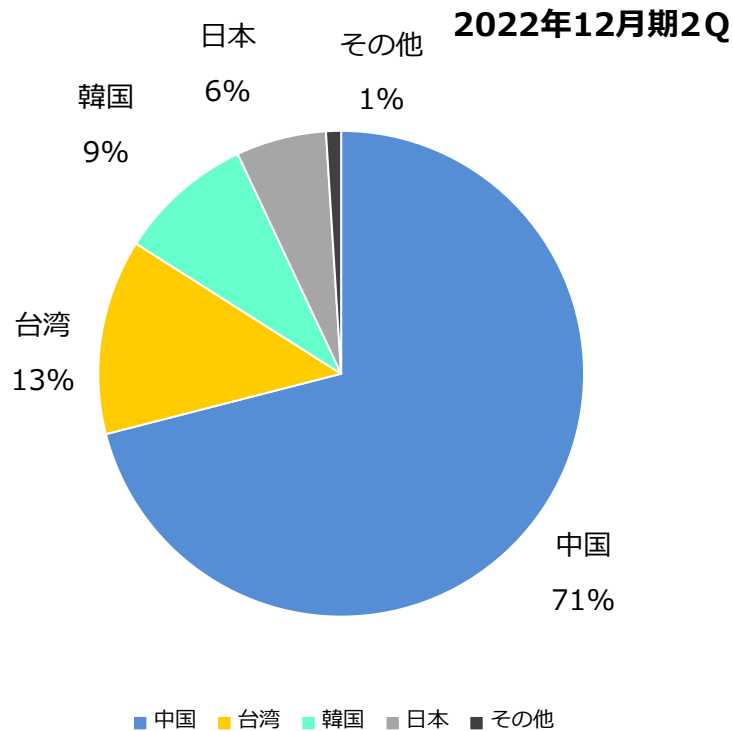


監視カメラ向け半導体売上高



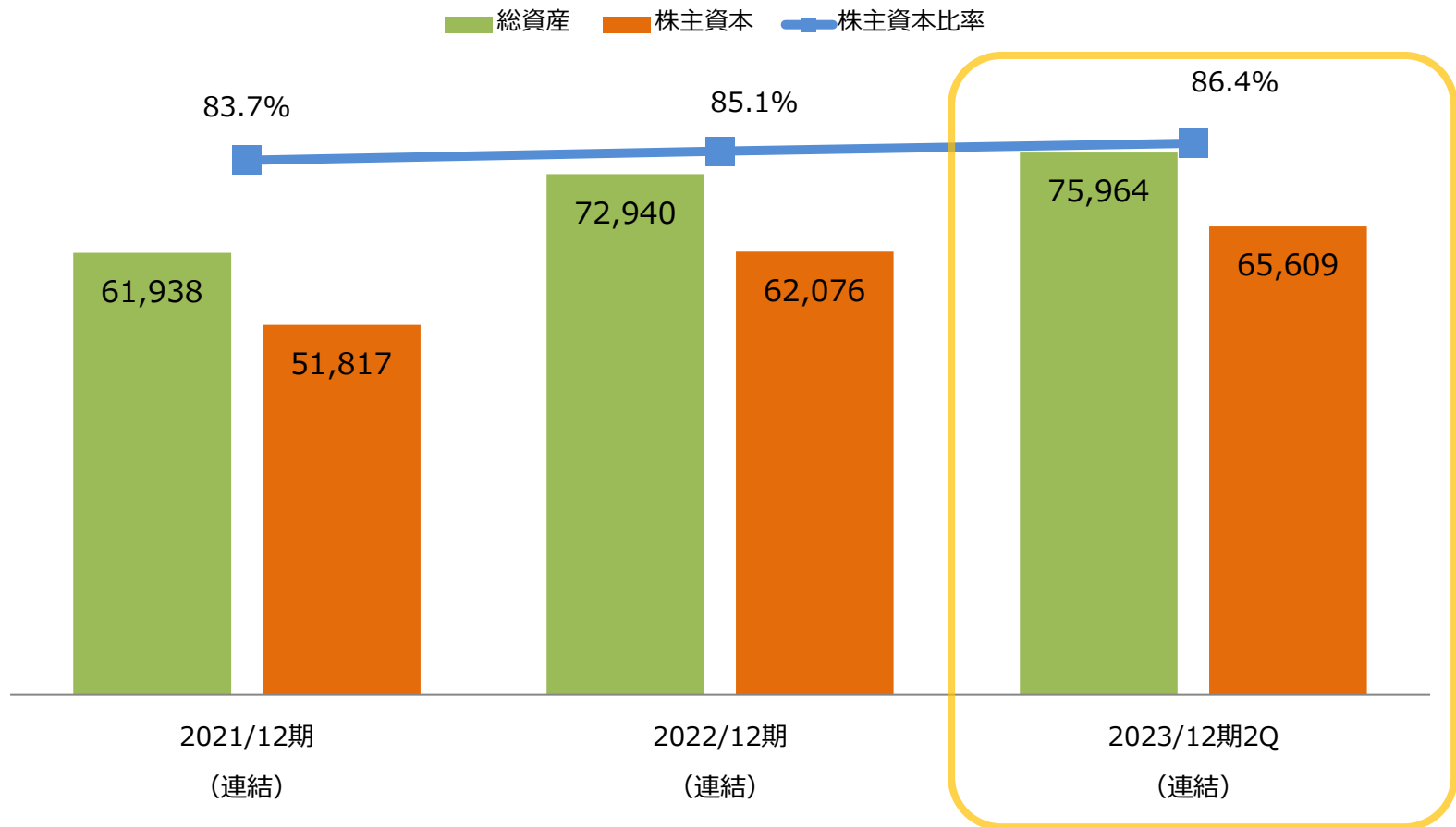
車載カメラ向け半導体売上高

地域別売上比率は、中国が増加、日本が減少



強固な財務基盤を維持、 2023/12期2Qの株主資本比率は86.4%

単位：千円



Ⅱ 2023年12月期業績予想の概要

(注)

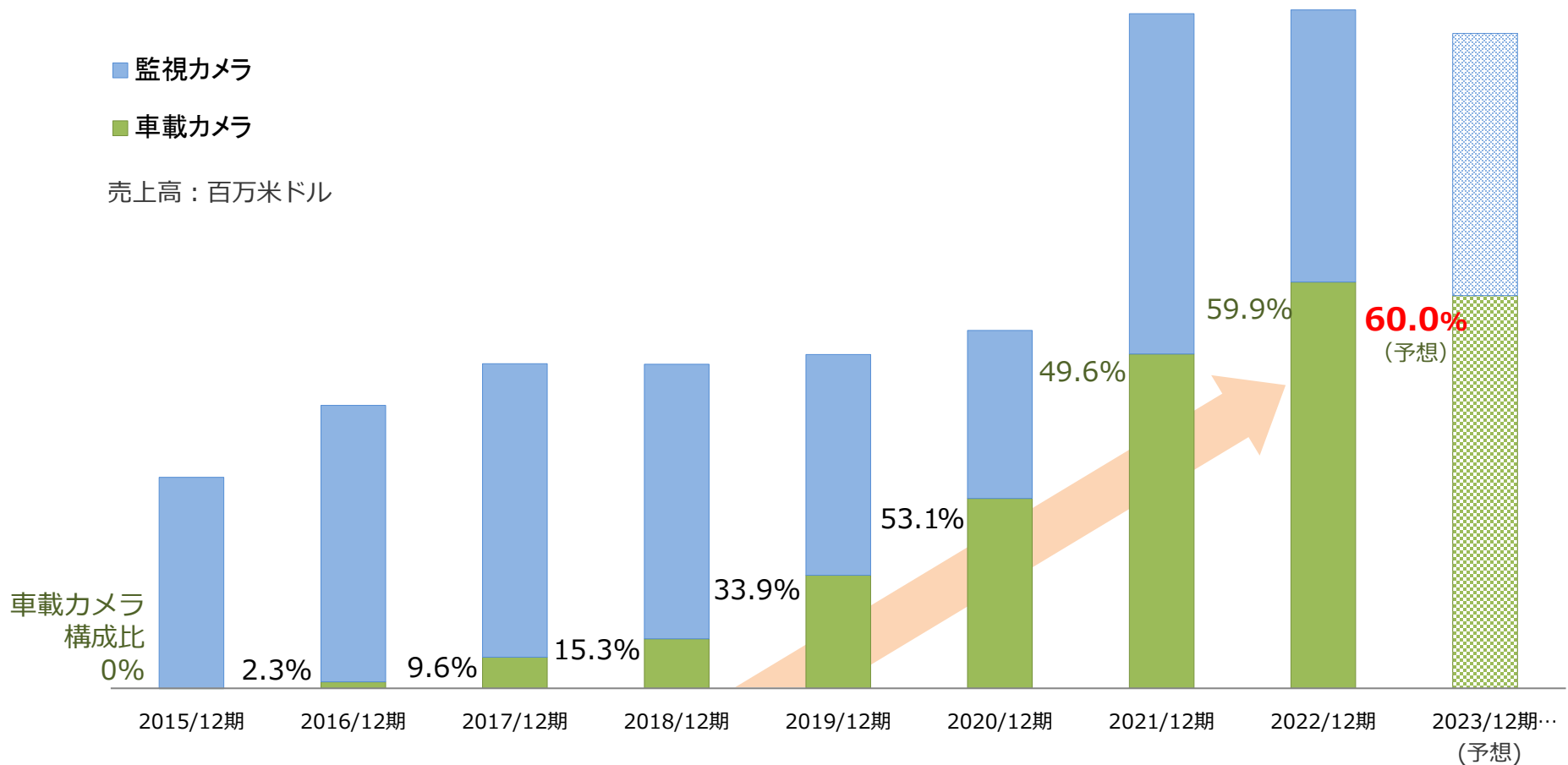
当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。
本資料において円で表示している業績数値は、
便宜上 1 米ドル=144.99円で換算された金額です。

現在の半導体需要家(カメラメーカー)の在庫調整は上半期中継続すると想定。新製品は販売時期・数量が見通せないため期首計画は既存製品のみを対象とする

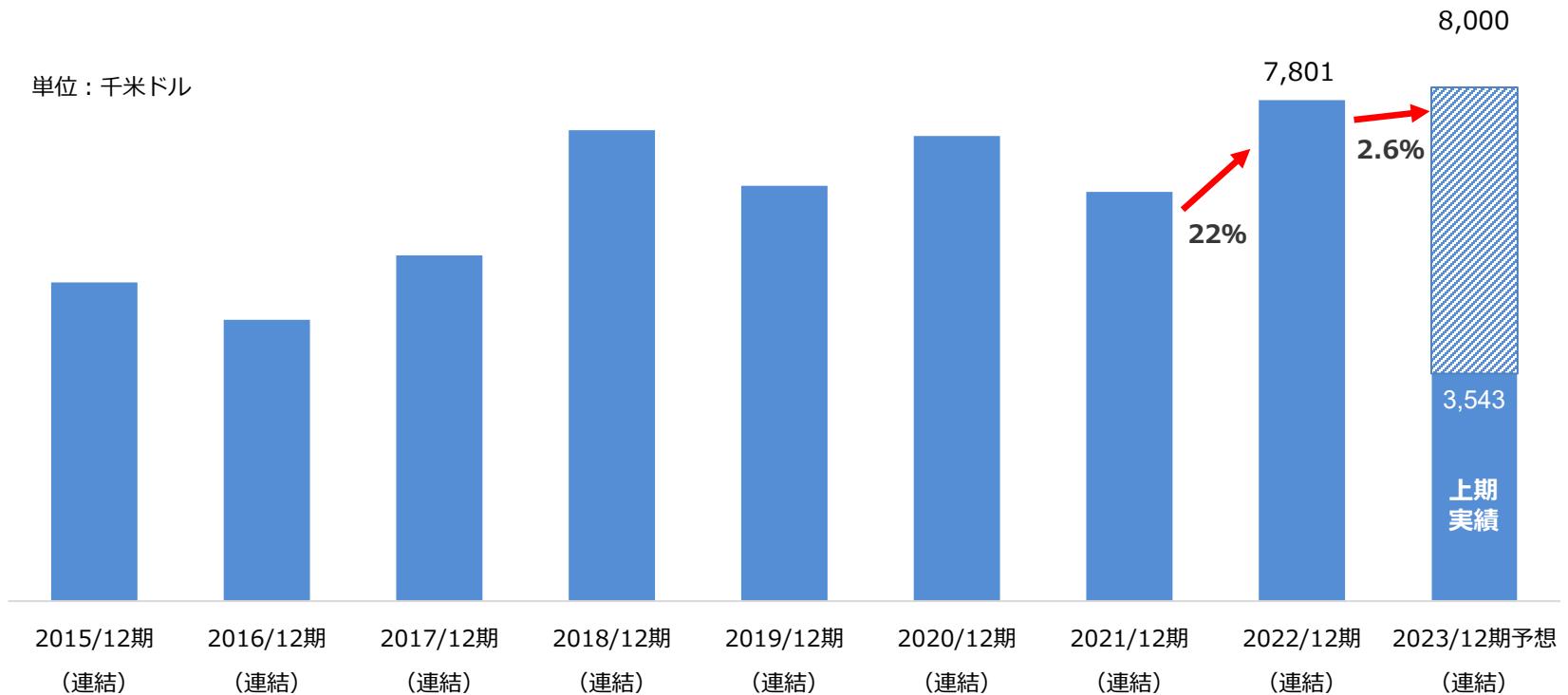
1. 通期売上高は、前期比3.5%減の62.8百万米ドル (9,107 百万円) を予想
2. 人員増・積極的なテープアウト計画のため、研究開発費を前期実績比2.6%(約200千米ドル)増額を計画
3. 営業利益は、17.3%減の16.0百万米ドル (2,321 百万円) を予想
4. 当期純利益は、8.2%減の16.2百万米ドル (2,350百万円) を予想
5. Non-GAAP当期純利益は、7.6%減の17.8百万米ドル (2,587百万円) を予想
6. 1株当たり当期純利益は89セント (129円) を予想
7. 1株当たりNon-GAAP当期純利益は98セント (142円) を予想

* 当社は配当性向を約50%とする方針を公表しておりNon-GAAP純利益をもとに計算します

車載カメラ向け半導体の比率は増加トレンドで推移 2023/12期は、2022/12期と同水準の構成比 60%を予想 (新製品含めず)



2022/12期は研究開発費は、人件費、テープアウト費用・デザイン費用増加により22%増
 2023/12期の研究開発費は、積極的な新製品試作（テープアウト）を計画、前期実績比 20万ドル増（2.6%増）を計画



2023年度以降の成長エンジンとなり得る戦略商品 他社への競争優位をさらに大きくする狙い



【防犯】ISP (+Tx) のノードの微細化 ➡ 設計中・生産委託先との相談中
微細化によりウエファーコストを低減、他社低価格品との価格競争に対抗



【車載】画像AIを含む一連の機能を備えたSoCの開発 ➡ 開発中
映像**伝送**技術の当社が、映像**処理**技術の知的財産 (IP) を取得
Eミラー向けを中心に高単価のAI-SoCを開発中、トータルソリューションの品ぞろえを完成



CMOSイメージセンサー ➡ サンプル出荷を継続、顧客の過剰在庫が整理され
800万画素の4Kカメラ向け 部品需要回復とともに本格的販売交渉を開始



ドアフォン用の半導体製品 ➡ 2023年第4四半期から量産を開始
ハイビジョン対応品



双方向音声対応のISP+Tx・Rx用半導体製品 ➡ 量産を開始



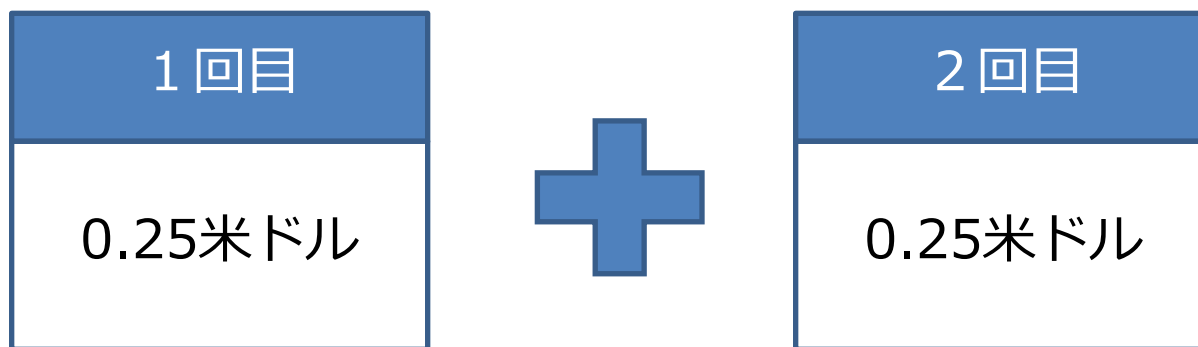
液晶ディスプレイコントローラー ➡ 量産出荷中/新製品開発中

Ⅲ 収益の還元について

NON-GAAP純利益※の約50%の配当性向を目処に 配当を実施する方針

※株式報酬費用控除前の当期純利益

2023年の配当金は、2022年12月期着地見込みに基づき年額50セント（25セント+25セント）を決定



1回目の支払いは、2023年1月31日を基準日とする普通株式株主への支払いを通じて、JDR受益者に分配を2023年3月に実施済み

米国源泉税減免申告された方、10%の税率適用の場合 29円

2回目の支払いは、2023年6月30日を基準日とする普通株式株主への支払いを通じて、JDR受益者に分配を2023年8月25日を目途に実施開始予定

同左
10%の税率適用の場合 31円
1回目との円金額の差異は為替相場による

2023年12月期 1株当たりNON-GAAP純利益は **0.98米ドルを予想**